

◆ライトダウンやまなし 今年も開催です！

第 23 回 ライトダウンやまなし 2021 ～キミと星が必要です～



「天の川が見える星空を次世代の子どもたちに」を合言葉に、必要のない照明を消し星空を取り戻そうと始まったライトダウン甲府バレー。2014 年から名称を「ライトダウンやまなし」に変更し、全県的な取り組みにしています。「ライトダウンやまなし」は、毎年継続して行われているライトダウンの活動としては、全国で最も長い歴史を誇ります。1 年に 1 度、1 時間だけ、身の回りの明かりを消して星空を見上げてみませんか。暗くなった街の夜空に広がる満天の星。その向こうにある大切な何かを見つけましょう。

- ・実施日／2021 年 11 月 6 日(土)消灯時間:午後 8 時～9 時
- ・主催／ライトダウンやまなし実行委員会、山梨県立科学館
- ・会場／メインイベント会場が、県内各地に設けられています。

詳しくは以下の WEB をご確認ください。

また、プレイベントもありますので、合わせてご覧ください。

<http://www.lightdown-yamanashi.com/index.php?Resume>



◆やまなしクールチョイス支援制度 今年度の活用団体のご紹介

山梨県は、県民が生活の中で身近にできる省エネの取り組みやエコ活動について普及啓発を実践する団体を支援し、山梨県内の地球温暖化防止活動の活性化を図ります。(山梨県の委託により本センターが実施します)今年度は、以下の5団体の方々が、制度を活用して温暖化防止に取り組んでいます。団体名と活動内容をご紹介します。

- ①The Yamanashi Environmental Social Sustainability Project
『大学生や地域の小学生を対象にした、資源循環型農業に基づく講座、コンポスト体験』
- ②甲府気候若者会議 『教材を活用した、SDGsや環境をテーマにしたワークショップの開催』
- ③私たちの電気を考える会 『太陽光発電のシステムを学び、実体験するワークショップの開催』
- ④はだしの学校 『放置林を調査、間伐し、生み出された木材を利用するワークショップの開催』
- ⑤おたまじゃくし 『焚き火料理で木質バイオマスを学ぼう』

現在、それぞれの活動が進行中です。1 月 10 日(祝・月)には、活動報告会が計画されています。ご興味のある方は、ぜひ、ご予定ください。

なお、支援制度には、まだ空きがあります。活用を検討される方は、以下の WEB をご確認ください。

<https://www.keep.or.jp/yccca/coolchoise.html>

発行：『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 キープやまねミュージアム内
TEL;0551-48-8011 FAX;0551-48-3577 Mail; eco@keep.or.jp
URL;<http://www.keep.or.jp/yccca/>

『気候が変？どう？ワークショップ』開催します

「気候変動適応ミステリー」から山梨の気候変動適応を考える



2021 年 10 月
つうしん 22 号

「気候変動適応ミステリー」は、気候変動について、グループワーク形式で謎(ミステリー)を解きながら、楽しく学べる教材です。気候変動の問題の本質や要因(さまざまなつながり)、気候変動による日本や世界への影響、地域での気候変動の適応例が含まれます。

先日、僕自身もオンラインで体験をしました。「ニュースで北海道の海水温があがってブリが豊漁。【ぶりバーガー】が売り出されているって」「妻がワイン会社に勤めていて聞いたのだけれど、山梨県内でも涼しい北杜市に葡萄畑をもつワイナリーが増えてるよ」ミステリーカードを対話の糸口に、それぞれのアンテナで感じている気候変動の地域の話が盛り上がります。地域で、学校で、企業で活用できる内容です。

●開催日・会場：

A 日程／2021 年 11 月 12 日(金)13:20～16:20 @都留市 ぴゅあ富士

B 日程：回／2021 年 11 月 13 日(土)13:20～16:20 @甲府市 山梨県立図書館

※新型コロナウイルス感染対策の上、リアル開催予定です。感染状況でオンラインの場合もあります

●対 象：中学生以上一般(山梨県在住・在職・在学等の方)

●定 員：各回 最大 30 名

●参加費：無料

★講師プロフィール

高橋 敬子(未来のための ESD デザイン研究所) 数百以上の環境教育事業に携わり、子どもから高齢者、日本人から外国人までを対象とした幅広い教育企画(数百人規模まで)の実施経験を持つ。

●お申し込み方法：1.参加希望日程、2.氏名 3.お住いの市町村 4.電話番号 5.Eメール をメール、電話、FAX にて、山梨県地球温暖化防止センターまで



『気候変動の影響及び適応策について』のアンケート調査

ご協力下さい



世の中には、いろいろなアンケート調査がありますね。気候変動についても様々な科学的な調査・研究が土台となっており、人類の未来への様々な示唆を与えてくれます。山梨県内で暮らす私たちが、気候変動に対して、どんなことを感じ、考えているのかを知ることは、今後の気候変動への対応を考える上で重要な情報です。

県内で地球温暖化防止に関わるみなさんから、ぜひ いろいろな方に声をかけてください。全県的な幅広い地域、多様な世代の方々の回答が、今後の気候変動への対応に役立ちます！以下、案内文です。

山梨県では、気候変動の影響による被害を回避・軽減するため、様々な分野の情報収集に努めるとともに、県民のみなさまへの情報発信に取り組んでいます。今回、みなさまの身の回りにおける「気候変動の影響」や「適応策※」に関する意識・考え方等を把握するためにアンケート調査を実施します。なお、アンケート調査結果については、適応策を推進するにあたり、今後の施策に反映するための基礎資料として活用いたします。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

※既に起こりつつある、あるいは、今後起こりうる気候変動の影響に対して、自然や社会の在り方を調整し、被害を回避・軽減したり、逆に気候の変化を利用するための取組です。

【調査期間：10 月 20 日(水曜日)まで】

アンケート回答は グーグルアンケート(右の QR コード)
または 山梨県ホームページからお願いします。↓

https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/trkioucentar/documents/itaku_survey.html



温暖化防止が学べる教材を

県内 22 校の小学校に贈りました

これまで、山梨県地球温暖化防止活動推進センターでは、山梨県内の環境イベントや地域の行事にお伺いして温暖化防止やエコライフに対する普及啓もうを行ってきましたが、コロナ禍にて、イベント開催が減ってしまふという状況になりました。

そこで、なんとか他の方法で、山梨の子どもたちに学びの機会を提供したいと願い、小学校で活用して頂ける教材を贈ることにしました。

教材の数量にも限りがあるので、今回は「甲斐市」と「北杜市」の小学5、6年生のクラスあてに、以下の教材を贈りました。

- ◆やまなしエコみつけトランプ！
- ◆やまなしエコすごろく
- ◆身近なことから始めよう！シート

あわせて、22校、約2,000人の小学生を対象にお届けさせて頂いております。どのように授業の中でご利用いただけるのか、また、アンケートでお声を聞くのが楽しみです。



※教材はセンター WEB よりダウンロードできます

大学生むけのオンライン教材を

ただいま開発中です！

大学での授業がオンラインになって1年以上、というニュースを良く耳にしております。なかなか実体験が伴わないので学びの質の確保が難しいという現場の声も聞こえてます。

そこで、センターでは、オンラインでありながら、温暖化をテーマにした新しい学びの教材を作れないだろうかと模索し、現在、目下、開発中です。

◆大学での「気候変動×暮らし」オンライン授業モデル構築～大学生が描くクールチョイスな未来の暮らし～

・目的／自分の将来や生き方を考え始める若者世代、特に大学生を対象に“クールチョイスな生活にシフトしていこう”と考えるきっかけを得る機会を創出する。大学の授業で取り入れ易い90分のクールチョイスオンライン授業のモデルを作成し、大学でのクールチョイス浸透の機会増加を目的とする

・内容／

①導入
②教材の動画視聴『エコライフ実践者の日常』10分
(北杜市に暮らし、食・エネルギー・建築など、暮らしにまつわるあらゆるものを、自身の手で生み出しながら楽しく豊かに暮らすゲストの動画を見て、多様な生き方があることをイメージする)

③暮らしを描く『私がしたい未来の暮らし』
(山梨県立大学で「描く」をテーマに授業を行っているゲストのファシリテートで、学生ひとりひとりが、自分の10年後を想像して描いてみるワーク。上手に描く、綺麗に描く、ことは全く求めず、自分の中に沸き上がる、クールチョイスな暮らしのイメージを、描く)

④共有はブレイクアウトルームにて
⑤今回のワーク、共有を終えての気づきをシェアする



現在、動画撮影を進めていまして、それを受けて、いよいよ11月からは、県内の大学での実践に入っていきます。学生たちは、どんな未来を描いてくれるでしょう！今からとても楽しみです。

持続可能でウェルビーイングな2050年

CO2ゼロやまなしの実現

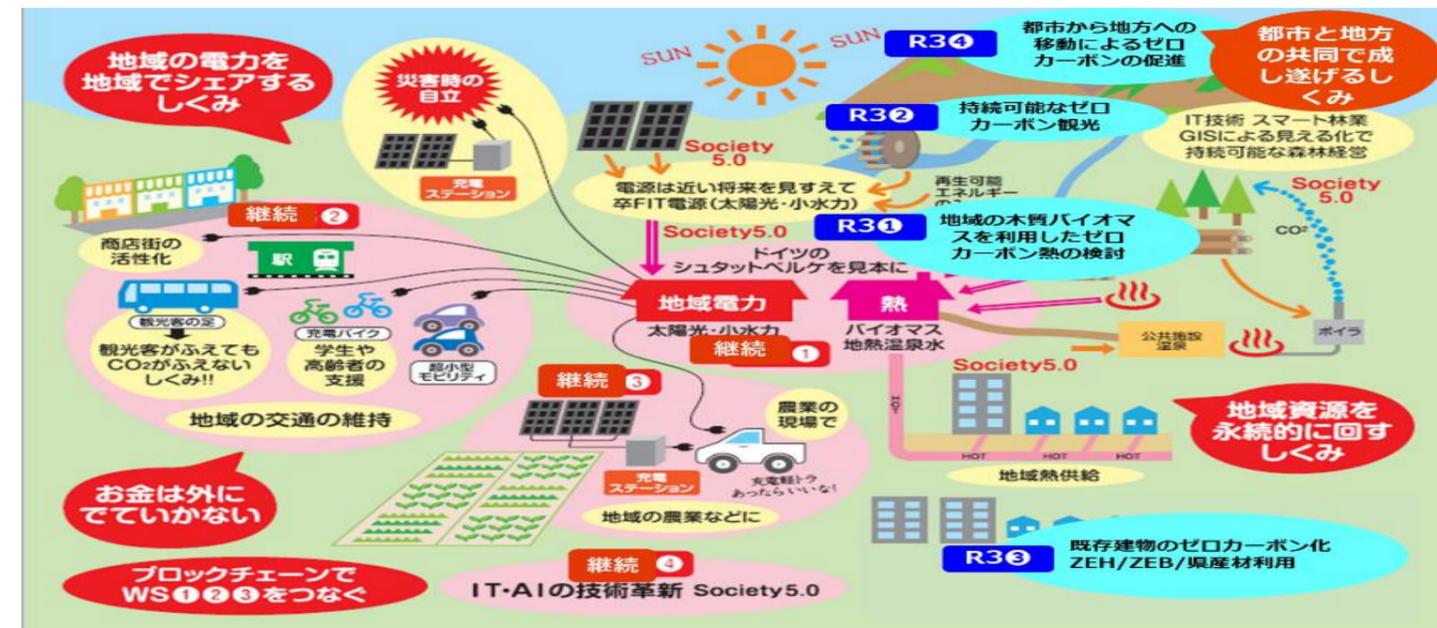
『一般社団法人 ゼロエミやまなし』の取り組みについて

はじめまして、一般社団法人ゼロエミやまなしです。この度は、私達の活動紹介をさせていただきます。

皆様ご承知のとおり、時代は、2050年ゼロカーボンに向けてすごいスピードで動き出しています。2015年のパリ協定の採択後、2020年には各国が「2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス実質ゼロ)」を表明、日本でも2020年10月、菅首相が所信表明演説の中で「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言し、政府は同年11月に参議院本会議にて全会一致で気候非常事態宣言を決議し「カーボンニュートラル宣言」を致しました。山梨県内では、2020年12月に北杜市がゼロカーボンシティ宣言をし、2021年2月には、山梨県が全自治体で宣言をしました。

そのような中、2020年4月、ゼロエミやまなしは『持続可能でウェルビーイングな2050年CO2ゼロやまなしの実現』を目指して、一般社団法人として立ち上がりました。同時に、環境省の地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業に採択され、今年度も継続して北杜市内で取り組んでいるところです。

下図をご覧ください。これは曼荼羅図と呼ばれ、持続可能性(SDGs)を構成する内容(エネルギー・ライフスタイル・交通インフラ・仕事・まちづくり等)などが網羅されています。私たちはこの図を見てワクワクしました。



◆北杜プロジェクト ゼロエミ曼荼羅図

頭の中にあるものが見える化されていたからです。全ては繋がっているので課題は同時解決していく必要があります。それを成し遂げていくためにはこの Society5.0の技術が必要だと私たちは考えております。

今回の北杜市のプロジェクトにおきましては、アドバイザーとして北杜市と県、また慶應義塾大学大学院等の先生方、関東 EPO のサポートも受けながら、地域のステークホルダーの皆様とともに、①地域新電力会社 ②木質バイオマス熱利用 ③ゼロカーボン観光 ④ZEB/ZEH 県産材 ⑤都市と地方で成し遂げるゼロカーボン の5つのテーマに取り組んでいます。

また、ITプラットフォームの検討や、ジオデザイン等の合意形成ツールも利用して、2020年3月に策定された北杜市の再生可能エネルギーマスタープランの内容にも沿う形で協議を進めているところです。

2020年の世界の化石燃料消費によるCO2排出量は、COVID-19パンデミックの影響により前年比で約7%減少し、大気汚染やNOx濃度も大幅に低下しました。このことは私たちの生き方を根本的に見直す必要があることを物語っていると思います。そのようなことも念頭にいれながら、私たちは、北杜市で持続可能でウェルビーイングな2050年ゼロカーボンを実現させそれをモデルとしてゼロカーボンの動きを加速化させていきたいと考えております。

見たこともないような素晴らしい未来を、新しい技術もどんどん取り入れて、みんなで力を合わせてつくりあげていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●一般社団法人ゼロエミやまなし
<https://zeroemi-yamanashi.org/>
お問合せ先: zeroemi.shizawa@gmail.com